

ト左按ヲ附シ上陳ス

御指令按

上申ノ趣聞届候事

會計檢査院ノ通牒

第 號 日受領
日裁可

○十三年二月各港輸出入表

大藏卿申報高覽ニ供ス

第 號 日受領
日裁可

○五圓新紙幣原圖彫刻ノ稟議

大藏卿稟議ニ曰當省印刷局ニ於テ五圓新紙幣原圖調

製セリ依テ原圖ノ如ク原版彫刻セント欲スト

追テ拾田新紙幣原圖ハ調査中ナルヲ以テ他日申
報スベシト

部議稟議ノ通聽許セラレ然ルベシト左按ヲ附シ上陳

ス

御指令按

伺ノ通

第 號 日受領
日裁可

○東京為換會社ノ貸下金處分ノ稟議

大藏卿稟議ニ曰東京為換會社ハ明治維新ノ際旧通商

司ノ誘掖ニテ創立セシ處近年時勢ノ變遷ニ隨ヒ漸

次衰替ヲ顯ハシ明治七年冬豪商相續テ閉店スルニ

方リ世間金融ハ全ク塞カリ該社ノ預リ金ハ一時ニ

二六

大

政

一

嚴促ヲ受ケ而シテ會社ヨリ巨額ノ貸金有之田漕開
墾郵便等ノ諸會社其他ニ至迄退轉同様ノ姿ニテ頻
ニ返償ヲ要スルモ更ニ應セス會社ノ困難止ムヲ得
サルノ事情當時歎願ノ趣聴取セラレ明治八年十月
中金三十萬圓當省ヨリ貸下ケ一時ノ急ヲ凌クト雖
モ爾來會社出納上入ルニ少ク出ルニ多ク倍々權衡
相称ハス遂ニ巨額ノ不足ヲ生シ何分維持致難キヨ
リ貸下金三十萬圓ニ對シ舊公債証書額面拾萬圓ヲ
以テ上納會社解散致度旨願出セリ抑該會社ノ儀ハ
曩ニ小札製造價金改方等ノ功勞モ有之且會社解散
スルニ付テハ社中一同身元金九拾四萬八千五百圓
ハ各員ノ損失ト看做シ殊ニ頭取三井小野兩組ノ如
キハ巨額ノ預ケ金ニ對シ旧公債証書額面高ヲ以テ

返償ヲ受ケ多クノ損耗ヲ負擔セシニ由リ特別ヲ以
テ情願ハ聴取スヘシト雖モ該社地所建家ハ精々高
價ニ賣捌カセ旧公債証書面高拾五萬圓ニモ増額上
納致カスベキ見込ニ有之依テ貸下金三十萬圓ノ内
不足ノ分ハ準備金ノ缺損トシ決算致シタシト
部議曩ニ特別ヲ以テ金三十萬圓大藏省ヨリ貸下ケ一
時ノ急ヲ救フト雖モ爾來該社ノ出納上量為不相償
遂ニ巨額ノ不足ヲ生シ何分維持致シ難キ場合ニ至
リ因テ貸下金三十萬圓ニ對シ舊公債証書額面拾萬
圓ヲ上納シ會社解散イタクシ度旨出願ニ及ヒタル次
第其實際ノ事情ト沿革トヲ查考スルニ元來該會社
ノ義ハ前陳ノ如ク無己事情アルヲ以テ當時特別ノ
詮議ニ出テ金額貸下ケラレタルヲナレハ今回情願

ノ趣モ到底特別ノ以テ采聽セラレ、ノ外無之乎然
リト雖モ法律上ヲ以テ之ヲ論スルハ抑會社ノ名
義アルモノニ於テハ各其責任ノ限界ヲカルハカラ
ス然ルニ該會社ノ如キハ則チ有名ニシテ無限責任
ノ會社タレハ今ハ其社解散ノ場合ニ於テハ其社員
總代ノ者ハ身代限ニマテ追徴スヘキモノ、如シト
雖モ未タ一般會社ノ條例頒布無之以上ハ姑ラク臨
機便宜ノ處分ニ出ル、外無之殊ニ該社員ノ如キ豪
富ノ輩比々倒産ニ至ルハ一般ノ融通上ニモ差響キ
理財上決シテ好マサルトニ有之因テ同省見込、通
談社ノ情願聞届ノ上地所建物等精々高價ニ賣捌キ
上納高増加セシメ貸下金額ノ内不足ノ分ハ準備金
ノ款損ニ相立ヘクト、趣許可セラレ然ルバシト左

按ヲ附シ上陳ス

御指令按

伺ノ趣特別ノ譯ヲ以テ聞届候事

第二〇號

○各廳需用、外國品當省購買、區別並地方稅支辨ノ
分適宜處分、申報

大藏卿申報ニ曰本年第拾壹号達各廳需用ノ外國品當
省ニ於テ購買供給ノ儀ハ國庫支出ノモノニ限り地
方稅支辨ノ分ニハ不及儀ト思考ス然レモ國庫ヨリ
其幾分ヲ補助スル者、如キハ其購求地方稅支辨ニ
屬スト雖モ内地製造ノ代用品アルカ又ハ其數量價
格ニ因リ當省ニテ買上ル方利益ト認ムル者ハ更ニ